K's NEWS
KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

印刷して学生みなさんでお読みください！

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：開田 輝
協力：滋賀県立大学生協
発行日：2021年2月4日
第070号

滋賀県立大学生協
共済学習会

[健康安全]

取り組み概要

日時：2020年11月27日（金）
場所：滋賀県立大学　教室
学生委員の反応：班に分かれて学習会を実施。学生委員全員が共済とたすけあい奨学制度を理解できた！

概要：新入生や保護者に共済の提案をするために学生委員会内で学習会を実施。学習会後に共済推進委員証を取得予定。

想いを込めて共済を提案するための学習会

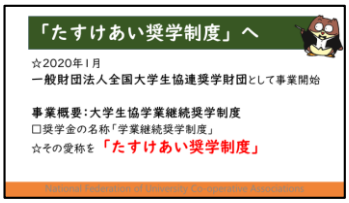
POINT.1 「わたしたちの共済」を実感しよう！

共済の話をする前に、そもそも大学生協の仕組みや目的から学習会を始めました。大学生協の事業の１つに共済事業があることを学生委員全員が改めて理解することができていました。学習の流れとしては学生総合共済の仕組みやおこりから始まり、「たすけあいアンケート」に記載されている給付を受けた人の声を読みました。こころの早期対応や制度改定の話を受け、大学生協の共済は「わたしたちの共済」であることを実感しました！また、全共セミの持ち帰りとして参加した3回生が1・2回生に向けて学習会を行っており、上回生の理想の関わりの1つですね！

POINT.2 4本柱の関わり合いを理解！

共済活動の4本柱を理解するために滋賀県立大学生協学生委員会が取り組んできた共済活動を1つ1つ振り返りました。自大学の活動を振り返ることで4本柱のつながりを意識することができました。また、共済の説明後にデモンストレーションで保護者説明会で共済の提案をした様子を伝え、共済の提案でやってはいけないことが何かを班に分かれて考えるワークをしていました。共済の提案で間違えそうなところを全体で確認し、新学期活動での提案を意識することができました。

POINT.3 たすけあい奨学制度についても詳しく理解！



学生総合共済の学習に加えて、たすけあい奨学制度についても学習しました。学習の流れとしては、勉学援助制度の成り立ちから勉学援助金を受けた学生からのメッセージを読みました。勉学援助制度の推進の課題を受けて、たすけあい奨学制度がスタートしたことを学びました。認知度向上に向けて各大学生協で取り組まれている事例についても学びました。

つながる元気、ときめきキャンパス。
univ. CO-OP
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
3 すべての人に健康と福祉を
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [開田 輝]
Kaida.Hikaru@univ.coop